

- 問1 日本の製造業が生産拠点を海外へ進出させた背景と、その結果として生じている課題について述べた文章として、最も適切なものはどれか。
(2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 原材料を安く仕入れるために海外へ進出した結果、国内での生産技術が飛躍的に向上し、若者の雇用が急増している。 | 2. 貿易摩擦を解消するために輸出を制限した結果、国内の工場が過剰となり、都市部から地方へ人口が流出する「過疎化」が課題となっている。 | 3. 安価な労働力を確保して生産コストを下げるために海外へ拠点を移した結果、国内の雇用が失われる「産業の空洞化」が課題となっている。 | 4. 円安が進んだことで海外製品の輸入が有利になり、国内の生産拠点が地方から都市部へ移転する「ドーナツ化現象」が課題となっている。 |
|--|---|--|---|
- 問2 日本の貿易統計において、ある港の輸入額の上位3品目を確認すると、通信機が15.7%、医薬品が10.4%、集積回路が9.6%となっていました。このような品目が貿易の中心となっている港（空港）の性質として、最も適切な説明はどれですか。
(2019年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---------------------------------------|--|
| 1. 通信機や医薬品など、重量が軽く高価で、付加価値の高い製品を主に扱っている。 | 2. 鉄鉱石や原油など、工業原料や燃料を中心とした重量が大きいものを扱っている。 | 3. 衣服や食料品など、生活に密着した安価な消費物資を大量に輸入している。 | 4. 自動車や船舶など、大型の輸送機械の輸出に特化した大規模な設備を持っている。 |
|--|--|---------------------------------------|--|
- 問3 日本の特殊な地形や自然環境に合わせた土地利用の説明として、最も適切なものはどれですか。
(2018年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 北海道では寒冷な気候による被害を防ぐため、スプリンクラーによる散水で気温を上げ、主に米の二期作が行われている。 | 2. リアス海岸は長い砂浜が続く海岸線であるため、その広大な砂地を利用してジャガイモや根菜類の栽培が大規模に行われている。 | 3. 石灰岩が雨水などで浸食されてできたカルスト地形は、水はけが良いという特徴を活かして果樹園などに利用されることがある。 | 4. カルスト地形は火山灰が厚く堆積してきた地形であるため、水分を保持しやすく、主に稲作を中心とした農業が行われている。 |
|--|---|---|--|
- 問4 日本の港湾地区には、広大な敷地に黒い山のように高く積み上げられた鉱物資源を、巨大なクレーンやベルトコンベアで管理する施設が見られます。このような施設で石炭を蓄えておく主な目的として、最も適切な説明はどれですか。
(2026年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 輸入した資源を一定期間寝かせることで、燃焼時に発生する有害物質を自然分解させるため。 | 2. 海外からの供給が不安定になった際でも、エネルギー供給を維持し、産業や国民生活の安定を図るため。 | 3. 石炭を空気にさらして乾燥させることにより、製鉄所で使用する際の燃焼効率を最大限に高めるため。 | 4. 国内の炭鉱で採掘された石炭を一時的に集め、海外へ輸出するための準備を行うため。 |
|---|--|---|--|
- 問5 長野県の高原地域において、レタスなどの生産に「抑制栽培」が取り入れられている理由として、最も適切な説明はどれですか。
(2017年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 冬の温暖な気候を利用して、他の地域よりも収穫時期を早めて高値で販売するため | 2. 一つの土地で1年間に2回、同じ作物を栽培することで、年間の総生産量を増やすため | 3. 大消費地に近い立地を活かして、輸送コストを抑えながら鮮度の高い野菜を届けるため | 4. 夏の冷涼な気候を利用して、他の産地の供給が減る時期に出荷し、高い価格を維持するため |
|--|--|--|--|
- 問6 近年、日本の製造業がアジア諸国に生産拠点を移す動きが加速しています。この動きの背景にある経済的な仕組みについて述べた文の空欄にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれですか。「アジア諸国では日本に比べて（X）ため、企業は製品の（Y）を低く抑えることが可能になる。」
(2018年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------|---------------------------|----------------------------|-------------------------|
| 1. X：労働者の賃金が安い
Y：生産コスト | 2. X：法人税が極めて高い
Y：宣伝広告費 | 3. X：熟練した技術者が多い
Y：研究開発費 | 4. X：土地の価格が高い
Y：輸送費用 |
|---------------------------|---------------------------|----------------------------|-------------------------|
- 問7 日本の大都市の周辺で行われている、消費地に隣接しているという立地条件を最大限に生かした農業の形態について説明した記述として、最も適切なものはどれですか。輸送費用や時間の節約、および農作物の品質維持の観点から考えてください。
(2023年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 高冷地の冷涼な気候を利用して、夏の出荷時期を他の地域より遅らせることで価格を安定させる農業 | 2. 冬でも温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどで出荷時期を早めて高い収益を狙う農業 | 3. 広大な土地と大型の機械を使い、米や麦などの穀物を大規模かつ効率的に生産する農業 | 4. 大都市の需要に合わせ、輸送費用を低く抑えつつ、野菜や果実などを新鮮なうちに市場へ届ける農業 |
|--|--|--|--|
- 問8 日本の畜産物（牛肉、豚肉、鶏肉）の生産において、その多くはトウモロコシなどの「濃厚飼料」に依存しています。豚や鶏の飼育ではその使用割合が100%に達しますが、この濃厚飼料の国内自給率は約12%にとどまっています。この状況が日本の食料自給率に与える影響として、最も適切な説明はどれですか。
(2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 国内で飼育されていれば、飼料の産地に関わらず食料自給率は100%として計算されるため、畜産は自給率向上に大きく貢献している。 | 2. 豚や鶏は牧草などの「粗飼料」を主に食べて育つため、輸入トウモロコシの自給率の低さは食料自給率にはほとんど影響しない。 | 3. 飼料の多くを輸入に頼っているため、国内で飼育された食肉であっても、自給率の計算上は輸入飼料分が反映され、数値が低くなる。 | 4. 日本ではトウモロコシの国内生産が急拡大しているため、濃厚飼料の自給率の低さはすでに解決されつつある。 |
|---|---|---|---|
- 問9 日本の工業製品であるIC（集積回路）の輸送方法について述べた文として、その理由と背景が最も適切に説明されているものを選択してください。
(2018年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 製品が重く大量の輸送が必要なため、一度に多くの荷物を運べる船舶輸送が利用される。 | 2. かつては鉄道輸送が主流であったが、排気ガスによる公害を防ぐために航空輸送へ転換された。 | 3. 製品が軽くて高価であり、輸送時間を短縮する利点が大きいため、航空輸送が利用される。 | 4. 全国に広がる高速道路網を利用し、戸別配送が可能な自動車輸送が主力となっている。 |
|---|--|--|--|
- 問10 夏の涼しい気候を生かして、レタスやキャベツなどの野菜を平地よりも遅い時期に栽培し、他の地域からの出荷が少ない時期に市場へ供給する農業形態を何というか、名称を選びなさい。
(2024年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. 促成栽培 | 2. 二毛作 | 3. 近郊農業 | 4. 抑制栽培 |
|---------|--------|---------|---------|
- 問11 日本の主要な発電所の立地場所を分析した記述として、水力発電の立地特性を正しく説明しているものはどれですか。
(2019年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| 1. 冷却水を大量に使用するため、都市から離れた広大な海岸部に立地する | 2. 火山の近くなど、地下の地熱エネルギーを取り出しやすい場所に立地する | 3. 燃料の輸入に便利な、消費地に近い大規模な港湾部に立地する | 4. 地形が険しく、雨量が多い河川の上流部や山間部に立地する |
|-------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
- 問12 都道府県別の農業産出額の割合を示した資料において、果実の割合が約3割を占め、全国的に見ても果樹栽培が盛んな地域として知られる都道府県を選びなさい。
(2024年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 秋田県 | 2. 青森県 | 3. 北海道 | 4. 新潟県 |
|--------|--------|--------|--------|